

長土地区 から 今月の気になる人



十市支所管内より
シトウ一筋22年!
 ほそかわつかさ
細川 司さん(62)
 めい
芽衣ちゃん(10)
 ゆうと
優人くん(8)
 りお
莉音ちゃん(4)

孫の芽衣ちゃん、優人くん、莉音ちゃんと一緒に写真に写る細川司さんは、十市でシトウを栽培するベテラン農家です。一時は自衛隊への入隊を志した時期もありましたが、ピーマンやシトウなどの施設園芸と養鰻業を営んでいたご家族の願いもあり22歳で就農。33年程前に品目を切り替えて以降、シトウ一筋で腕を磨いてきました。

9月中旬には、30アールのハウスに約1900本を定植し、今作の栽培が始まります。「同じようにはいかないので毎年勉強」と司さん。長年、十市園芸部シトウ部会の部会長を務め、現在は県域シトウ部会の部会長も兼任。生育の様子などをこまめに記録しながら生産量全国1位を誇るシトウの魅力を発信しようと努めています。



大川支所管内より
いつまでも元気に活躍してね!
 やまなか やす
飼い主：山中 安さん
ペット：(上) ペコちゃん(7)
(下) たまくん(3)

畑にたびたび出没し、危害をもたらす猿から農作物を守る番犬の役割も兼ねて、知り合いに譲ってもらい迎え入れたペコちゃんとたまくん。

普段はとても温厚で人懐っこい性格の2匹ですが、猿の群れが目の前に現れると番犬の本領を発揮します。それぞれの持ち場から、畑に近付こうとする猿に向かって威嚇を開始！2匹が懸命に追い払ってくれているおかげで被害も抑えられているそうです。

飼い主の安さんのことが大好きなペコちゃんとたまくん。“遊んでー”と言わんばかりにじゃれついて甘えてきます。「なかなかゆっくり遊ぶ時間を取れてないけど、いつまでも元気で活躍してほしい」と安さん。頼りになる2匹の愛犬に絶大な信頼を寄せています。

南国中央支所管内より
儲かる農業経済を目指しています
 ほそかわ なおき
細川 直樹さん(25)



幼い頃から農業を営む家族の姿を見て育った細川直樹さん。20歳ぐらいから「やってみよう」と興味を持った農業の道を歩み始めました。

高校卒業後は運送会社に就職し、退職後に就農。現在、ご家族の手を借りながら「きらび」という新品種のトウモロコシと糖度の高いサツマイモ『紅はるか』を栽培しており、かざぐるま市やとさのさとにトウモロコシを出荷しています。

「天候や気温などの影響を受ける農作物の栽培は簡単ではない」と農業の難しさを感じる一方で「収穫の喜びや消費者からの“おいしい”の一言が励みになっている」と、農業のやりがいを実感している直樹さん。栽培技術の向上に向けて日々汗を流しながら、儲かる農業経営を目指しています。

地域の活性化に向けて 三和支部のみなさん

部員数88人で活動をしているJA女性部三和支部のみなさん。部員同士の仲が良く『ミニみわマルシェ』や花の寄せ植え、日帰り研修旅行を通して親睦を深めています。

多くの方が訪れるマルシェは、平成30年から始まりました。JAの年金の日に開かれるマルシェでは、朝早くから部員らが協力して調理した焼きそばや田舎寿司などの加工品が並ぶほか、パーザや喫茶コーナーを併設。地域の方々気軽に足を運べる場として定着しています。

「活動を続け地域の活性化につなげていきたい」楠瀬理枝部長。部員一丸となって先輩方が築き上げてきたことを守り、JAを拠り所に地域を盛り上げていこうと取り組んでいます。



くすのせりえ (支部長) まつおか ゆかこ (副支部長)、
 にしとせつこ うまつめきょうこ まえだ あつこ
 西本 節子さん、馬詰 京子さん、前田 淳子さん、
 おかだ みつえ ひろみつみつこ まつぎ ちさ
 岡田 光江さん、廣光 光子さん、松木 千佐さん、
 のむら とよか ふくい ひろこ はまぐち ようこ
 野村 登代香さん、福井 汎子さん、浜口 陽子さん、
 なかざわみちこ うつい たみえ はまぐち かよ えぶちれいこ
 中沢 道子さん、打井 民衛さん、浜口 佳代さん、江洲 麗子さん

2人の成長を楽しみに
 わだ はるな
和田 榛名ちゃん(4)
 りょうま
龍馬くん(1)
 まさゆき
父：将之さん 母：華奈さん

「大きくなったらお父さんと大川村でラーメン屋さんをしたい!」と、元気に答えてくれた和田榛名ちゃん。歌やダンスが大好きで、YouTubeをお手本にして練習しています。将之さんの地元群馬県の榛名山から命名された名前には、「地域に根差し、たくさんの人から愛される懐の大きい人に育ててほしい」というご両親の願いが込められています。

土佐の偉人坂本龍馬のように“新時代を切り開き、人々に影響を与えられる存在になってほしい”という思いから名付けられた弟の龍馬くんは、お姉ちゃんのことが大好き! 上達したハイハイやつかまり立ちをしながら、一緒に遊んでいるそうです。

ご両親は「これからの成長が楽しみ」と、2人を温かく見守っています。



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 南国市地域

自慢の温泉水プールを無料開放



プールを楽しむ児童ら

J A高知県の子会社「天然の湯」がおか温泉は6月9日、同市立長岡小学校の児童を温泉水プールに招待しました。地域の温泉施設を身近に感じてもらうと2014年から無料開放を行っており、今年で8回目。今年3年生48人が参加しました。同施設の近藤正人支配人が温泉水プールの特徴などを説明した後、プールに入り先生や友だちと楽しめました。児童らは「水が温かくて気持ちがいい」と深いプールに大はしゃぎ。同施設の近藤正人支配人は、「子どもたちの楽しそうな姿が見られて良かった。ルールを守り安全にプールを楽しんでほしい」と話しました。

3 南国市地域

高齢者施設の花壇に寄せ植え



ボランティアの会のメンバー

J A高知県士長地区の助けあい組織ボランティアの会は6月14日、地域貢献活動の一環で南国市の介護老人保健施設「JAいなほ」の玄関前に花の寄せ植えを行いました。コロナ禍で活動ができない中、会員のアイデアで企画し、今年で2年目。この日は会員12人が参加し、玄関前にマリーゴールドなど色とりどりの花を植えました。同会は、地域の高齢者を対象にボランティア活動などを行う組織で、現在は年5回の環境美化活動を計画しており、7月、9月、12月にも同施設で草引きや寄せ植えを行います。

6 れいほく地域

大好評！

牛のうどん屋さんランチ会



地域住民らでにぎわったランチ会

J A高知県女性部れいほく地区の「牛のうどん屋さん」は6月16日、土佐町相川の「牛のうどん屋さんカフェ」で3回目のランチ会を開きました。この日のメニューは、「あか牛おろしハンバーグランチプレート」。11時半のオープンに向けてメンバー7人が調理を行い、90食を販売しました。プレートには、メインの他に米ナスやイタドリなど管内で栽培された農作物を使った数種類の副菜を用意。利用者からも「品数も多く、栄養満点の温かい食事を食べられて嬉しい」と好評で、営業開始前から多くの地域住民が訪れ、家族や友人との食事を楽しんでいました。

4 れいほく地域

みもり出荷開始！



出荷に向けて丁寧に作業を行う上田さん

土佐町の標高550メートルのハウスで栽培されているユリ「みもり」の収穫が5月下旬から始まりました。淡いミントグリーンの色合いが目を引く同種は、「ブルー」の派生により生まれた品種で、ノブルに比べて花弁が細く、花弁数が少ないのが特徴。花粉がなく、無臭で花持ちが良いことから市場関係者からの評価も高く、ブライダルやフラワーアレンジメントとして需要が高まっています。今年度は、昨年の800本を大きく上回る2万本の出荷を見込んでおり、生産者の上田裕介さんは、「日持ちも良く、長く楽しめるので飾って楽しんでほしい」と話しました。



生産者ら12人が参加した目慣らし会

1 南国市地域

希少な桃『ちよひめ』仕上がり上々！



J A高知県士長地区管内の南国市稲生地区で栽培されている極早生桃「ちよひめ」の出荷が6月上旬から始まりました。同種は果肉が白く、外観、食味ともに優れており、すっきりとした甘さが特長。1週間から10日ほどの短期間しか出回らない希少な桃で、同地区の農家で組織する南国市稲生果樹研究会の農家8戸が43アールで栽培しています。6月1日に同研究会の中澤康男会長の農地で開かれた目慣らし会には、生産者や市場関係者ら12人が参加。実の熟れ具合や糖度を確認し、出荷時期を話し合いました。今年は気温が高く、降水量も多く推移したことからの糖度は昨年よりやや低めで、糖度は平均糖度は11度と例年並みの仕上がり。中澤会長は「今の時期しか食べられない桃を多くの方に食べてもらいたい」と話しました。『ちよひめ』の出荷は、昨年より4日早い6月4日から始まり、出荷初日は50kg、11日までに計299kgがJAの稲生園芸集出荷場に持ち込まれ、県内の量販店などに出荷されました。

2 れいほく地域

4年ぶりの嶺高祭に米粉倶楽部 出店！



4年ぶりに開かれた嶺高祭

J A高知県女性部れいほく地区で活動する目的別グループ「米粉倶楽部」は6月24日、本山町の高知県立嶺北高等学校で開かれた「令和5年度 嶺高祭」に出店しました。部員3人とJA役員らが参加し、ラーメンや管内で栽培された農作物などを販売。学生や学校関係者、訪れた地域住民らで賑わい、用意したラーメン80食は昼前に完売するほどの大盛況でした。コロナ禍の影響で4年ぶりに通常開催で開かれた嶺高祭。来場客に楽しんでもらおうと各クラスが企画したゲームや食べ物などを販売したほか、体育館では作品の展示や吹奏楽部による演奏なども行われ、多くの方を楽しませていました。同部は、部員数18人で活動している組織で、イベントへの出店を通じて商品のPRや地域を盛り上げていこうと地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。同部の上田みち部長は、「4年ぶりの出店で自分たちも楽しむことができた。学生さんにも大変好評で良かった」と笑顔で話しました。

南国市地域より

南国営農経済センター 営農指導課
088-863-2415



南国営農経済センター
営農指導課
近澤 慶哉

稲刈り後の雑草防除 (翌年に向けての水田雑草対策)

近年水田の多年生雑草の中でも難防除雑草である「コウキヤガラ」「ホタルイ」等の発生が増加しています。これらは、稲刈り後も土中に地下茎や、塊茎を作り越冬し、翌年再び発生するという繰り返して繁殖していきます。

多年生雑草は塊茎寿命が長いものが多く、単年で完全防除は非常に困難ですので、稲作中は除草剤散布適期に効果が見込める初・中期剤を使用します。水持ちの悪い水田の場合、薬剤の効果の持続期間が短くなり、十分な効果が期待できなくなります。また、稲刈り後は以下に記述してある防除方法を数年継続して行うことが重要です。



◆多年生雑草の種類

コウキヤガラ (ヤカラ) ・キシウスズメノヒエ (シバクサ) ・ホタルイ ・ミズガヤツリ など。

◆初期除草剤の効果を高める作業方法

代掻き作業を浅水で丁寧に行う事により、すでに発生している株を土中に埋没させます。こうすることで初期剤の効果がより高まります。

◆非選択性除草剤の利用

稲刈り後、雑草がある程度成長したら (茎葉長がシバクサ1m、ヤカラ・ホタルイ・クログワイ20cm)、雑草の葉茎部から入って根まで枯らす除草剤を散布します。地上部を枯らすとともに、浸透移行性があるので、地下部の塊茎等にも効果が期待できます。多年生雑草の地下茎まで枯らせば、雑草の発生源を絶やすので、翌年の発生を軽減することができます。

ただし低温になり、雑草の生育が停滞する頃になると浸透移行の効果が落ちるので散布時期に注意しましょう。

◆秋～冬期のほ場耕うん

秋から厳冬期までの間にロータリー耕うんを行い、雑草の地上部を埋没したり、茎や根を切断したりすることで塊茎の形成量を抑えることができます。また、田を乾燥させてから塊茎を掘り出し、地表面にさらすことで、塊茎量を減らす効果があります。(湿田では効果が低くなります)



れいほく地域より

れいほく営農経済センター 営農販売課 0887-82-2803

冬春野菜を作ってみませんか？

夏秋作が終了する前に、冬作の準備をはじめましょう。
品目によって栽培の期間が異なりますので、次の夏秋作の計画を立てながら栽培してみましょう。

●スナップエンドウ

生育適温は12℃～20℃で寒さに強く、簡単な防寒で冬越しできます。
収穫は開花後20日前後、ある程度実が太ってきた頃が収穫適期です。

スナップエンドウ	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
作付け時期		播種					収穫期	

●ほうれん草

生育適温は10℃～20℃で、寒さに強い野菜です。
播種後45～60日程度で収穫でき、草丈20～25cmの頃が収穫適期です。

ほうれん草	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
作付け時期		播種					収穫期	

●レタス

レタスは、冷涼な気候を好み、暑さには弱いですが、光を確保するため、日当たりのいい場所で栽培しましょう。
播種後80～90日程度で収穫でき、玉の頂部を手で押してみても、硬く締まっていたら収穫適期です。

レタス	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
作付け時期		播種			収穫期			

電気柵で農作物を守りましょう

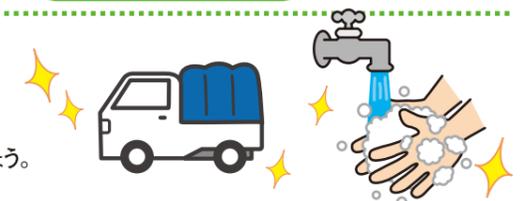
電気柵は、正しく設置しないと効果はありません。以下のポイントに注意して効果的な対策をとりましょう。

- *草が柵に触れていないか、たるんで地面に触れていないかなど、週に1度は見回って点検しましょう。
- *電気柵は、対象動物の体毛の無い鼻先や口唇が当たる高さに調整しましょう。例えばイノシシでは、地面から20cm、40cmの高さに2段張ります。
- *日中も通電し、動物に安全だと認識させないようにします。
- *また、人が立ち入る場所には必ず「危険表示板」を設置してください。



GAP 掲示板 vol.39 れいほく地域

気温が高くなり、雑菌が繁殖しやすい環境になっています。
作業前には手を洗い、手指や爪を衛生的にしましょう。
収穫時のハサミやコンテナ、手袋は定期的に洗浄しましょう。
収穫物を運搬するトラック等の荷台等は清掃してから積込みましょう。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

『土長地区からこんにちは』で知っている人が紹介されて嬉しかった。ハウス栽培を頑張ってる姿は活発に
なってますね！ 誌面を通して、地域で活躍されている方をどんどん紹介してまいります！
(大杉出張所・71歳)

『うちんくの台所』がとても参考になります。それぞれ地域の特産物を生かして工夫しているのが素晴らしい！
(長岡支所・85歳)

『うちんくの台所』は多くの方から大変、好評をいただいております。どれも手軽に作れるものなので、試してみてください！ 過去に掲載されたレシピは、JA高知県のHPでも確認いただけますので、そちらも要チェック★
(南国中央支所・72歳)

今回の特集記事では、日頃馴染みのない食肉流通の過程が理解でき、関係者の方々が効率化向上に邁進されていることが良くわかりました。
(れいほく支所・45歳)

▼新たに新設された食肉センター『ミートプロセンター』。牛の取り扱いをメインに、集荷や卸売を「買って行えるほか、『ポタン競り』が導入されたことで取引の活性化にも期待が高まっています。生まれ変わった食肉センターを拠点に、畜産業の振興つなげていってほしいですね。

今年の春に実家の母が入院したため、初めてふぎを購入し、母が退院したら調理できるように冷凍保存をしました。来年は、母にタケノコの漬け方やゼンマイの干し方など色々教えてもらおうと思います。伝統は受け継いで残していかなければと思います。
(れいほく支所・50歳)

▼本当にその通りだと読ませていただきました。親子、そして孫へと継承し、絶やすことなく家庭や地域に根付いた食文化を守っていきけるようにしたいですね。
(岡豊支所・60歳)

『うちんくの台所』で紹介されていたレシピが美味しそうだったので、作ってみたいと思いました。
(十市支所・30歳)

▼彩りも美しく、柚子の爽やかな香りで夏場でもさっぱりといただけそうなレシピでしたね。ぜひ、作ってみてください！ 今月号の『うちんくの台所』では、大豊町支部の女性部のみなさんに教えていただいた地域で親しまれている郷土料理を紹介しています！
(岡豊支所・60歳)

いつも旬の情報をありがとうございます。県内で活躍されている皆様の写真が生き生きとしています。これからも楽しみにしています。
(岡豊支所・60歳)

▼毎号ありがとうございます。目標や夢に向かって取り組んでいる姿は輝いていますね。毎月、地域の方を取材させていただく中で、新たな気付きや、出会い、発見があり、刺激をもらっています！
(れいほく支所・50歳)

川柳・短歌 紹介

早くこい 夏帰省する まごを待つ
(本山支所・76歳)

俺体壕 昔は飛行機 今は農機具
(日章支所・50歳)

梅の実よ 青葉の中に鈴なりに
鳥に食われぬ 保護色ですか
(れいほく支所・50歳)

南国

(株) 南国スタイルより 短期農作業員募集

作業内容・期間

- ①次世代ハウス内の片付け・定植準備作業
8月～9月上旬予定
- ②南国ライスセンター作業
8月～9月予定 (※期間は作業状況により変更あり)

募集人数

若干名

お問い合わせ先

(株) 南国スタイル 担当：後藤 (TEL：088-855-3179)

れいほく

ライスセンターアルバイト募集

勤務場所

土佐町ライスセンター

作業内容

稲刈り後の生粳受入・乾燥・糶摺り、玄米袋詰め作業など

作業期間

8月中旬～11月末ごろ

募集人数

若干名

お問い合わせ先

れいほく営農経済センター営農販売課
担当：石本 (TEL：0887-82-2803)